

時がつくる建築

リノベーションの西洋建築史

加藤耕一

Architecture in Time:
Survival of buildings
through history and social change
Koichi Kato

東大教授の建築史家
ミニマリストの先駆者
そして
世界を横断する衣食住のプロが語る。

空間と コミュニティ の再定義

時間的にも経済的にもゆとりが少なくなった現代の日本社会では、ラグジュアリー＝ハイブランドのイメージが定着している。そして多様化する価値観や人々の意識や行動の変化によって、ラグジュアリーの意味も変化しつつある。豪華絢爛が権力・地位・富を誇示する手段だった時代の西洋建築を研究する学者と、究極にシンプルかつ優雅な空間を生み出す建築家と、ハイクオリティーなライフスタイルに精通する衣食住プロデューサー。シンポジウム SECTION64 では、個性的なスペシャリスト 3名それぞれの視線から、心を豊かにする Luxury とはどんなものなのか？ そのヒントを投げかけます。

2024.11.12 Tue

OPEN: 17:00 ~

17:30 - 19:30

[懇親パーティー 19:45 - 21:00]

THE CAMPUS
HALL "CORE"

パネリスト

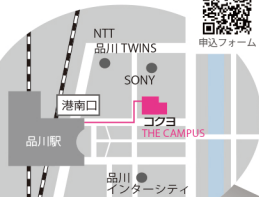
加藤 耕一 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授
小川 晋一 小川晋一都市建築設計事務所代表
岩立マーシャ MARCIA IWATATE OFFICE 代表

ファシリテーター 飯島直樹 JCD 監事、飯島直樹デザイン室
林野友紀 JCD 正会員、丹青社

参加費 5,000 円 (先着 130 名)

会場 コクヨ株式会社 東京品川オフィス
THE CAMPUS HALL "CORE" (北館 2階)アクセス 東京都港区港南 1-8-35
※ JR 品川駅港南口より徒歩 3 分

申込フォーム



加藤耕一 (かとうこういち)

東京大学大学院工学系研究科 建築学専攻。教授専門は西洋建築史・建築理論。
主著『時がつくる建築 リノベーションの西洋建築史』(東京大学出版会 2017) で、サントリー学芸賞、
日本建築学会賞、日本建築史学会賞を受賞。他に『ゴシック様式成立史論』、『画室屋敷』の文化史など。

小川晋一 (おがわしんいち)

建築家、(株)小川晋一都市建築設計事務所代表。1955 年生まれ。日本大学芸術学部卒業。ワシントン州立
大学建築学科交換留学。文化庁派遣芸術家在外研修員(ニューヨーク)。ポール・ドルフ事務所及びアルキ
テクニカ(ニューヨーク)勤務。元正統大学工学部建築学科教授、英国エジンバラ芸術大学客員教授、日本
大学芸術学部客員教授。ニューヨーク、ロンドン、ミラノ、パレルモ、香港他世界各都市で展覧会を開催。

岩立マーシャ (いわたて まーしゃ)

米国ワシントン D.C. 生まれ。東京や NY でファッション広告のキャリアを経て、『春秋』など数多くのレスト
ランや新規ブランドの総合プロデューサーを手掛ける。2015 年には著名川園園礼拝堂・休憩棟のランドスケープ
デザインも手掛けている。著書には『Japan Houses』『Japan Living』『Korea Style』など欧米諸国に日本や韓国
の建築、デザインを紹介する書籍や、料理を紹介する書籍などを執筆している。

主催：一般社団法人日本商環境デザイン協会 (JCD) 共催協力：コクヨ株式会社
問い合わせ先 JCD 本部事務局 info@jcd.or.jp

JCD

KOKUYO